

都立文化施設の夏季特別企画 サマーナイトミュージアム 2023 を4年ぶりに開催

都立の文化施設では、4年ぶりに「サマーナイトミュージアム」を開催します。

令和5年7月20日から8月31日までの期間中、毎週金曜日の夜は、特典等をご用意しております。

今年は東京都渋谷公園通りギャラリーが加わり、東京都美術館、東京都庭園美術館、東京都写真美術館、東京都現代美術館の計5館での開催です。夏の夜に展覧会をゆっくりとお楽しみください。皆様のご来館をお待ちしております。

- ◆ 詳細については、別紙をご参照ください。
- ◆ その他追加情報やイベント・特典の内容に変更が発生した場合は、公益財団法人東京都歴史文化財団ウェブサイト (<https://www.rekibun.or.jp/>) にてお知らせいたします。



サマーナイトミュージアム開催施設



東京都美術館
(上野)

7月28日(金)より



東京都庭園美術館
(目黒)

7月21日(金)より



東京都写真美術館
(恵比寿)

7月20日(木)より



東京都現代美術館
(清澄白河)

7月21日(金)より



東京都渋谷公園通りギャラリー
(渋谷)

7月28日(金)より

《その他の夏のミュージアムイベント》

- ◆ 江戸東京たてもの園では、8月5日（土曜）、6日（日曜）にイベント「たてもの園 下町夕涼み」を開催
- ◆ 「サマーナイトミュージアム2023」と同時期に、国立・都立ミュージアムをめぐる謎解きイベントを開催

【問い合わせ先】

生活文化スポーツ局 文化振興部 文化事業課

電話：03-5388-3158

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

企画部 企画課 企画係 連携担当

電話：03-6256-8853

※実施内容の詳細は、別紙に記載の各都立施設の広報担当者までお問い合わせください。

東京都美術館 TEL 03-3823-6921

★夜間開館

金曜日 17:00～20:00

展覧会

うえのそこから「はじまり、はじまり」 荒木珠奈 展

〈会期：7月22日(土)～10月9日(月・祝)／会場：ギャラリーA・B・C〉

◀サマーナイトミュージアム期間中の夜間開館日程▶7月28日、8月4日、11日、18日、25日

特典 学生無料／一般・65歳以上は200円引（要証明）

※サマーナイトミュージアム期間中の金曜日(7月21日を除く)、17:00以降の入場に限りません。

※他の割引との併用はできません。



荒木珠奈は、へんてこなかわいらしさとソクツとする感覚が混ざり合った世界観が魅力の作家です。この夏、東京都美術館の地下空間で、まるで絵本を1ページずつめくっていくように、日常と非日常の境界を行き来する不思議な旅をしてみませんか？こどもから大人まで楽しめる、ちょっと怖くて懐かしい展覧会の「はじまり、はじまり」！

関連イベント 「ダイアログ・ナイトwith とびラー」 事前申し込み制

日 時：8月18日(金)、8月25日(金) 各日とも18:45～19:15

対 象：どなたでも

参加料：無料。ただし展覧会の観覧料が必要です。

金曜夜の夜間開館の時間に、東京都美術館で活動するアート・コミュニケータ（とびラー）と一緒にゆったり展覧会をめぐるませんか？お話ししながら一緒に作品世界を楽しむ鑑賞プログラムです。申し込み詳細は、決まり次第展覧会公式サイト <https://www.tobikan.jp/hajimarihajimari> に掲載します。

※入館は閉館の30分前まで

※学生無料の「学生」とは、大学生以下（専門学生、高校生、中学生）を全て含みます。

※学生・65歳以上の方は、学生証・年齢の確認できるもの

※特別展「マティス展」の観覧料割引はありませんのでご注意ください。

※美術情報室は17:00まで

ショップ・カフェ・レストラン

●ミュージアムショップ（20:00まで営業）

特典

●レストラン「RESTAURANT MUSE（レストラン ミューズ）」（20:00まで営業／ラストオーダー19:30）

7月21日、28日、8月4日、11日、18日、25日の17:30以降にご来店のお客様は、**会計時5%引**

●レストラン「RESTAURANT salon（レストラン サロン）」（20:00まで営業／ラストオーダー19:00）

7月21日、28日、8月4日、11日、18日の17:30以降にご来店のお客様は、**会計時5%引** ※8月25日は17:30までの営業です。

展覧会

フィンランド・グラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン (会期：6月24日(土)～9月3日(日))

《夜間特別開館日程》7月21日、28日、8月4日、11日、18日、25日

特典 学生無料／一般・65歳以上は団体料金適用 (要証明)

※17:00以降の入場に限りませす。

※他の割引との併用はできません。

※オンラインによる日時指定制です。



北欧・フィンランドは、広大な森と湖に代表される豊かな大自然を有する国です。本展は、デザイナーが自ら「アートグラス」の名のもとにデザインし、職人との協働作業によって生まれた作品に着目した展覧会です。1930年代の台頭から1950年代に始まる黄金期、そして今に至る8名のデザイナーと作家が手がけた優品約140件に焦点を当て、フィンランド・グラスアートの系譜を辿ります。

庭園公開

《夜間特別公開日程》7月21日、28日、8月4日、11日、18日、25日

特典 学生無料／一般・65歳以上は団体料金適用 (要証明)

※17:00以降の入場に限りませす。

※展覧会観覧券で庭園もご覧いただけます。

※ただし、日本庭園内は安全確保のため、一部の園路の通行時間を18:00までとさせていただきます。

※入館は閉館の30分前まで

※学生無料の「学生」とは、大学生以下(専門学生、高校生、中学生)を全て含みます。

※学生・65歳以上の方は、学生証・年齢の確認できるものが必要です。

ショップ・カフェ・レストラン

《夜間特別営業》7月21日、28日、8月4日、11日、18日、25日

- ミュージアムショップ「MUSEUM SHOP リュミエール (Lumière)」(21:00まで営業)
- カフェ&ラウンジ「café TEIEN (カフェ 庭園)」(18:00まで営業/ラストオーダー17:00(フード)、17:30(ドリンク))
- レストラン「comodo (レストラン コモド)」(21:00まで営業/ラストオーダー20:00)

展覧会

田沼武能 人間讃歌 〈会期：6月2日(金)～7月30日(日) / 会場：地下1階展示室〉

◀夜間特別開館日程▶7月20日、21日、27日、28日

特典 学生無料 / 一般・65歳以上は団体料金適用 (要証明)

※17:00以降の入場に限りませす。

※他の割引との併用はできません。

田沼武能は、写真家・木村伊兵衛に師事し、月刊誌『芸術新潮』の嘱託写真家として芸術家や文化人を撮影、その後はタイム・ライフ社の契約写真家となるなど、フォトジャーナリズムの世界で華々しい活躍を展開し、2022年6月に93歳で急逝しました。1972年からはライフワークとして世界の子供たちを撮影、生涯で130を超える国と地域に足を運びました。本展では未発表最新作「武蔵野」を初公開するとともに、常にヒューマニスティックな視点で人間のドラマを描き続けてきた田沼武能の魅力あふれる写真家生活を振り返ります。



本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語 〈会期：6月16日(金)～9月24日(日) / 会場：2階展示室〉

◀夜間特別開館日程▶7月20日、21日、27日、28日、

8月3日、4日、10日、11日、17日、18日、24日、25日、31日

特典 学生無料 / 一般・65歳以上は団体料金適用 (要証明)

※17:00以降の入場に限りませす。

※他の割引との併用はできません。

写真家・映画監督の本橋成一と、フランスの国民的写真家と称されるロベール・ドアノー。本展は、生まれた時代・地域が異なる二人の写真家に共通する、人間への関心と愛情に満ちたまなざしに着目します。写真家としての原点から新たな物語へとひろがる5章構成により、日本初公開作品を含む約200点を紹介します。



TOPコレクション何が見える？「覗き見る」まなざしの系譜

〈会期：7月19日(水)～10月15日(日) / 会場：3階展示室〉

◀夜間特別開館日程▶7月20日、21日、27日、28日、

8月3日、4日、10日、11日、17日、18日、24日、25日、31日

特典 学生無料 / 一般・65歳以上は団体料金適用 (要証明)

※17:00以降の入場に限りませす。

※他の割引との併用はできません。

我々が世界を見る際のひとつの形式である「覗く」という行動が、いかなる方法や装置をとまな変化してきたのか、豊富な視覚文化史にかかわる作品・資料を中心に展示します。「覗き見る」ことを可能にした装置と、それによって生み出されたイメージ、そして「覗き見る」ことからイメージをを広げた作家たちの多様な表現をご紹介します。



風景論以後 〈会期：8月11日(金・祝)～11月5日(日) / 会場：地下1階展示室〉

◀夜間特別開館日程▶8月11日、17日、18日、24日、25日、31日

特典 学生無料 / 一般・65歳以上は団体料金適用 (要証明)

※17:00以降の入場に限りませす。

※他の割引との併用はできません。

風景とは何か。1970年前後にあらわれた風景論は、どこにでもある風景を現実の側からとらえ直そうとしました。本展では、こうした風景論をめぐる歴史的な写真映像表現を出発点に、今日の現代作家にいたる作品群をつなぎ、東京都写真美術館の映像コレクションを中心に紹介します。



《略称・連続射殺案》1969年 東京都写真美術館蔵

※入館は閉館の30分前まで

※学生無料の「学生」とは、大学生以下(専門学生、高校生、中学生)を全て含みます。

※学生・65歳以上の方は、学生証・年齢の確認できるものが必要です。

※図書室は18:00まで

ショップ・カフェ

◀夜間特別営業▶7月20日、21日、27日、28日、

8月3日、4日、10日、11日、17日、18日、24日、25日、31日

●ミュージアムショップ「NADiff BAITEN (ナディップ バイテン)」(21:00まで営業)

●カフェ「フロムトップ」(20:00まで営業/ラストオーダー19:30)



展覧会

「あ、共感とかじゃなくて。」〈会期：7月15日（土）～11月5日（日）〉

「夜間特別開館日程」7月21日、28日、8月4日、11日、18日、25日

特典 学生無料／一般・65歳以上は団体料金適用（要証明）

（サマーナイトミュージアムの日にはオンラインチケットは販売なし。チケットカウンターのみで販売）

※17:00以降の入場に限りませす。

※他の割引との併用はできません。

この展覧会では、有川滋男、山本麻紀子、渡辺篤（アームヒア プロジェクト）、武田力、中島伽耶子の5人のアーティストの作品を紹介します。彼らは作品を通して、知らない人、目の前にいない人について考え、理解しようとしています。



デイヴィッド・ホックニー展 〈会期：7月15日（土）～11月5日（日）〉

「夜間特別開館日程」7月21日、28日、8月4日、11日、18日、25日

「観覧料割引」なし

現代で最も革新的な画家のひとりデイヴィッド・ホックニー（1937年、イギリス生まれ）の日本では27年ぶりとなる大規模な個展です。



「MOTコレクション 被膜虚実／特集展示 横尾忠則一水のように／生誕100年 サム・フランシス」

〈会期：7月15日（土）～11月5日（日）〉

「夜間特別開館日程」7月21日、28日、8月4日、11日、18日、25日

特典 学生無料／一般・65歳以上は団体料金適用（要証明）

※17:00以降の入場に限りませす。

※他の割引との併用はできません。

東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、さまざまな組合せや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。



※展示室入場は閉館の30分前まで

※学生無料の「学生」とは、大学生以下（専門学生、高校生、中学生）を全て含みます。

※学生・65歳以上の方は、学生証・年齢の確認できるものが必要です。

※美術図書室は18:00まで

ショップ・カフェ・レストラン

「夜間特別営業」7月21日、28日、8月4日、11日、18日、25日

●ミュージアムショップ「NADiff contemporary（ナディップ コンテンポラリー）」（21:00まで営業）

●カフェ＆ラウンジ「二階のサンドイッチ」（21:00まで営業／ラストオーダー20:30）

●レストラン「100本のスプーン」（21:00まで営業／ラストオーダー20:00）

展覧会

「モノクローム 描くこと」〈会期：7月22日（土）～9月24日（日）〉

「夜間特別開館日程」7月28日、8月4日、11日、18日、25日

いつでも観覧料無料

7名の作家が魅せる 限られた色の世界に広がる、限りのない世界。

モノクロームをテーマに、限られた色の中で描かれる作品がもつ独自の世界に注目し、条件を絞ることで強いコントラストをもって見えてくる、多様な表現を紹介します。



《その他の夏のミュージアムイベント》

江戸東京たてもの園

(東京都江戸東京博物館分館)

夜間特別開園 たてもの園 下町夕涼み

8月5日(土)、6日(日) 16:00~20:30

(開園は9:30から、入園は20:00まで)

開園時間を延長し、夏の夕べの過ごし方を体感していただける催しです。復元建造物の商店が建ち並ぶ「下町中通り」では提灯や建物の灯りがともし、普段とは違った賑わいを見せる街並みが広がります。日本の伝統的な民家では、夕べの涼やかな風を感じながら過ごしていただけます。



※東京都江戸東京博物館は大規模改修工事実施のため休館中ですが「江戸東京たてもの園」は開園しております。

国立・都立美術館を舞台にした謎解き体験型アートエンターテインメントをこの夏開催します！

独立行政法人国立美術館、公益財団法人東京都歴史文化財団は、東京都内の美術館などを巡って謎を解く、美術館周遊イベントを7月22日(土)から9月3日(日)まで合同で実施いたします。特設ウェブサイトへアクセスし、ストーリーに沿って謎を解きながら美術館などを巡る体験型アートエンターテインメントです。

この夏、ぜひ新しいアート体験をお楽しみください。

《参加ミュージアム》

東京国立近代美術館、国立西洋美術館、国立新美術館
東京都美術館、東京都庭園美術館、東京都写真美術館、東京都現代美術館

詳細は公益財団法人東京都歴史文化財団ウェブサイト
(<https://www.rekibun.or.jp/>)にて7月中旬公開予定